

強い日本株

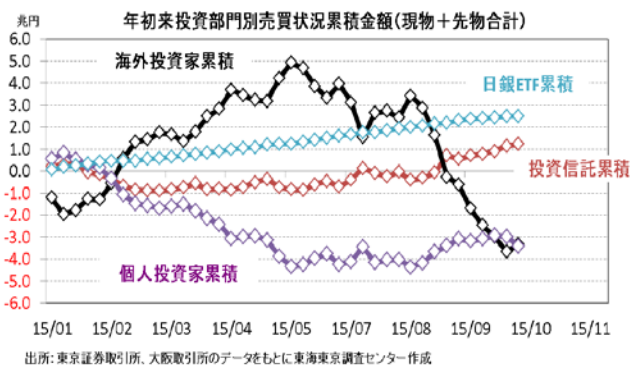
寄稿 / 仙石誠（東海東京調査センター マーケットアナリスト）

海外投資家の呪縛から逃れた日本株の底堅さ

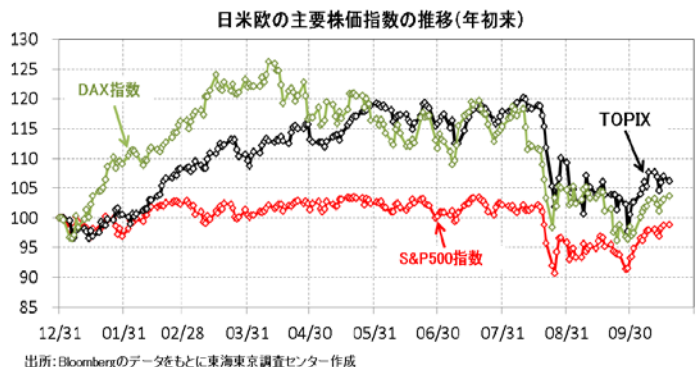
10月に入り、ようやく上昇に転じている。まだ、先行きに対する警戒感が払拭されてはいないが、9月のような真っ暗なトンネルの中からは脱してきた印象を持つ。今回のコラムでは急落した日本株を振り返ってみたい。私は日本株の需給（日本株を買ったり、売ったりする投資家の動向）を中心に分析を行なっているが、そこに「強い日本株」を感じたからである。

8月上旬まで堅調な株価の推移が継続していた日本株は、中国景気の先行きや米国の利上げに対する警戒感から大幅に下落した。毎週公表されている投資部門別売買状況を見ると、海外投資家が日本株を大幅に売り越したことが日本株の大幅下落に繋がっている。2015年3月末時点で日本株を31.7%保有しており、売買シェアも高い為、多くの市場関係者が海外投資家の日本株に対する動きに注目している。「海外投資家が日本株を売ったら日本株は下落する」とはよく言われていることで、今回も日経平均株価が8/10の20800円台から9/29には17000円台を割り込むまで下落した背景には、海外投資家の売り越しがある。《図表1》には主要投資家の年初からの現物株と先物を合計した累積の売買動向を載せている。黒色の折線が海外投資家で、年初からの累積を見ると5月末時点で4.9兆円買い越しであったが、9月第5週には3.6兆円の売り越しとなっている。6月からの4ヵ月間で、それまで年初来の累積買い越し分をすべて吐き出し、さらに大幅に売り越しとなったわけである。しかし、東証1部全体の時価総額から算出されるTOPIXの年初来パフォーマンスは9/30時点で+0.26%である。実はここがポイントで、海外投資家が売れば日本株は下がると言われているが、年初からの9ヶ月で海外投資家は大幅に売り越したが、日本株はわずかながら上昇していると言える。これには日本連合軍による買い手が増加したことが背景として挙げられよう。日銀による年間3兆円のETF買いや企業による自社株買い、また個人投資家も日経レバレッジETF等を通じて押し目買いを入れたことで、海外投資家が売り越しても下がり難い市場に変化しているようだ。さらに言うと年初からのパフォーマンスは海外の主要株価指数と比較してもパフォーマンスは悪くない《図表2参照》。8月中旬以降だけを見ると株価は大幅に下がってしまったが、これだけ海外投資家が売り越したにも関わらず、年初来のパフォーマンスをプラスに保っていることに強い日本株を感じた。8月中旬以降の株価下落により、これまでの上昇トレンドが崩れたと決めるのは早すぎる決断だろう。（仙石 誠）

《図表1 年初来投資部門別売買状況金額》



《図表2 日米欧の主要株価指数の推移》



この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。情報の正確性には万全を期しておりますが、その正確性・完全性・将来の運用成果の予測等を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、情報提供会社等および当社は一切の責任を負いません。資産運用の際にはお客様の責任において最終的にご判断ください。この資料は、第三者への提供を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用等させることはできません。

金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して上限 1.242%（税込）（ただし、最低手数料 2,700 円（税込））の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。金融商品等には株式相場、金利水準の変動等による「市場リスク」、金融商品等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の「信用リスク」、外国証券である場合には、「為替変動リスク」等により損失が生じるおそれがあります。さらに、新株予約権等が付された金融商品等については、これらの「権利を行使できる期間の制限」等があります。なお、信用取引又はデリバティブ取引を行う場合には、その損失の額がお客様より差入れいただいた委託保証金又は証拠金の額を上回るおそれがあります。手数料等およびリスクは、金融商品等ごとに異なりますので、契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。

東海東京証券の概要

- 商号等 : 東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第 140 号
- 加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会